

EB-5000
(戸建用)

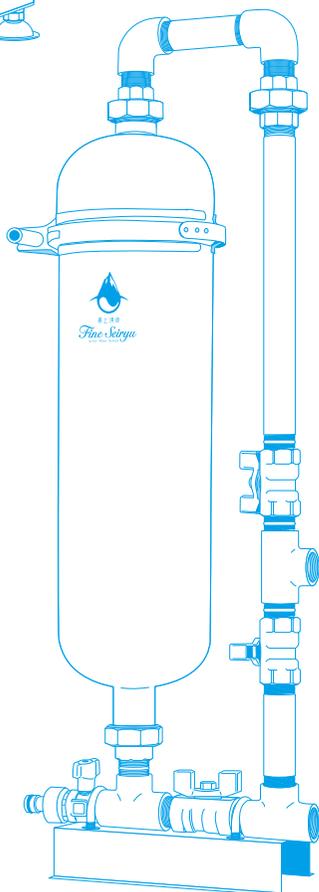


最上清流

Fine Seiryu
Active Water System

EB-5000 EB-5500

施工要領書 取扱説明書



EB-5500
(マンション用)

Contents

施工要領書

安全上のご注意	1
施工上のお願い	2
各部の名称	3
付属品、別売部品	4

取扱説明書

EB-5000(戸建用)	
関係寸法図	5
設置イメージ	6
施工要領図	7
施工手順	8
EB-5500(マンション用)	
関係寸法図	11
設置イメージ	12
施工要領図	13
施工手順	14
カートリッジ交換方法	17
バルブ操作説明書	19
メンテナンス(カートリッジ交換)のご案内	21
こんな時は	22

※工事をされる方へ

製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい設置工事が必要です。工事開始前に本書を必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をしなかった事が原因で生じた故障・事故などは保証の対象にはなりませんのでご注意ください。設置工事後、本書と「申込書兼保証書」をお客様にお渡しください。

■安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全に正しくご使用いただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用になる前にこのページの注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

必ずお守りください。

！警告と注意

使用者に重大な身体的影響(死亡または重傷など)または物理的損害を与える可能性が想定される内容です。

お守りいただく内容を右記のアイコンで示しています。



必ず実行する内容



してはいけない内容

！警告

！ 上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工してください。

⊘ 静止水圧が0.7MPa以上の環境下で使用しないでください。
※0.7MPaを超える場合は給水一次側に減圧弁を設けてください。

！注意

！ 水道水または水道法水質基準に適合した水をご使用ください。

！ 製品の満水重量に十分耐え、水平位置が保てる場所に設置してください。(満水重量:34.5kg)

！ 工事は必ず関係水道局の承認、または検査に合格したものを使用し、本書に従って確実に行ってください。

！ 水が流出しても支障がない防水処理された場所や排水ができる場所に設置してください。

！ 設置する際は、搬入搬出、配管工事、保守点検、性能維持のため、必ず周囲のスペースを確保してください。

！ 初期通水後(またはカートリッジ交換後)、各接続部位と開閉部位から水が漏れていないか確認してください。

！ 配管に保温材を取り付けてください。また、凍結の恐れがある場所に設置する場合は、保温材を使用しても機器や配管が凍結破損する恐れがあります。凍結防止帯を巻いて加温してください。-5℃以下になる場合は、外気に触れない室内や専用の保温小屋を設けるなど凍結防止対策を講じてください。

⊘ 硫化ガス成分が多い地域、または浄化槽などから強い下水ガスが出ている場所には設置しないでください。(本体腐食の原因になります)

⊘ 海浜地域で潮風が直接当たる場所や温泉地域など特殊な場所には設置しないでください。(本体腐食の原因になります)

■施工上のお願い

製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい設置工が必要です。工事開始前に本書を必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をしなかった事が原因で生じた故障・事故などは保証の対象にはなりませんのでご注意ください。設置工事後、本書と「申込書兼保証書」をお客様にお渡しください。

🔧 工事の前に

- 本製品は、飲用適合水(水道水)用としてご使用ください。
- 適正使用水圧(0.25MPa~0.7MPa)でご使用ください。
- 本製品は上水道の量水器2次側に接続する為、当該水道局の条例に基づき、認定水道事業者が指定された配管材料(部品)にて行ってください。
※地域により、使用材料(部品)や施工方法が若干異なりますので事前にご確認ください。
- 給湯システムの2次側には接続しないでください。
※機器故障の原因になります。

🔧 工事にあたって

- 製品の上面には乗らないでください。変形することがあります。
- カートリッジ交換やメンテナンスのための十分なスペースを確保してください。
- 本製品への接続部材については、GP・VP接合ユニオン(別売品)を使用してください。
- 建物側の配管が13mm~25mm内の環境下でご使用ください。
- 本製品は、水道メーターと分岐手前の水道管に接続してください。
※分岐後の配管に接続した場合、一部のみ浄水になる場合があります。
- 製品の入水口と出水口を正しく接続してください。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物の混入をさけてください。

🔧 配管の材質選定について

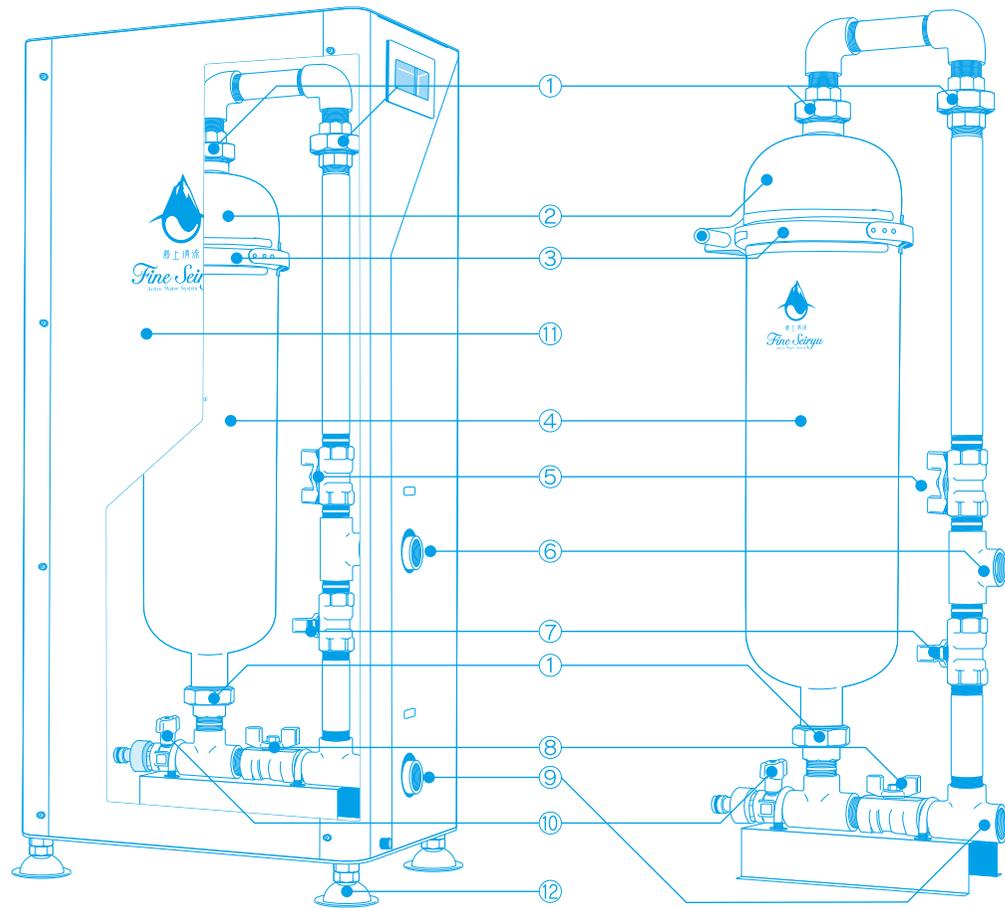
- 水道用ポリ塩化ビニル管、ポリエチレン管、ポリブタン管、ステンレス管を使用してください。

🔧 工事後について

- 浄水した水を全蛇口に供給しますので、必要に応じて塩素濃度を調整してください。
- 工事後は、本書をお使いになるお客様にお渡しし、保存していただくように依頼してください。

EB-5000

EB-5500



①本体接続ユニオン

カートリッジ交換時に着脱します。

②管体キャップ

カートリッジ交換時に開閉します。

③管体バンド

②管体キャップと④メイン管体を固定します。

④メイン管体

カートリッジを装填します。

⑤出水バルブ

⑥出水口

ここから浄水された水を出水します。

⑦バイパス用バルブ

残留塩素濃度を調節できます。

⑧入水バルブ

⑨入水口

ここから原水を入水します。

⑩ドレインバルブ

逆洗浄を行う時にここから排水します。

⑪屋外設置用カバー

浄水器を風雨から守るステンレス製のカバーです。

⑫アジャスター

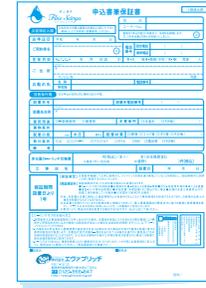
設置の際、本体の水平レベルを調整します。

■付属品、別売部品

付属品

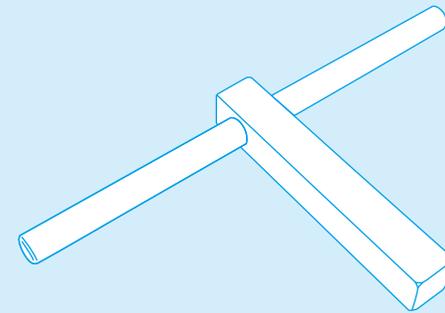


●施工要領書 取扱説明書…1部

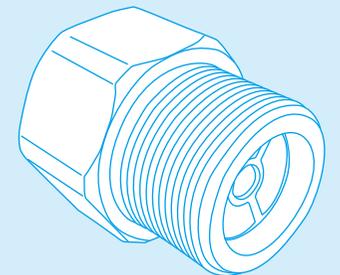


●申込書 兼 保証書…1部

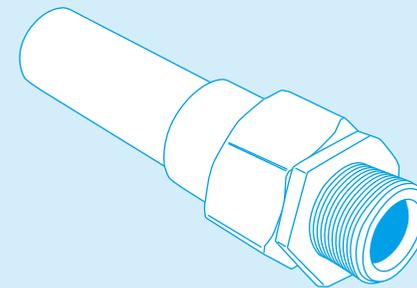
別売部品



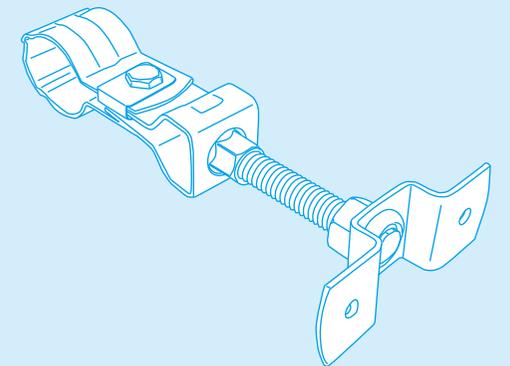
●T字工具



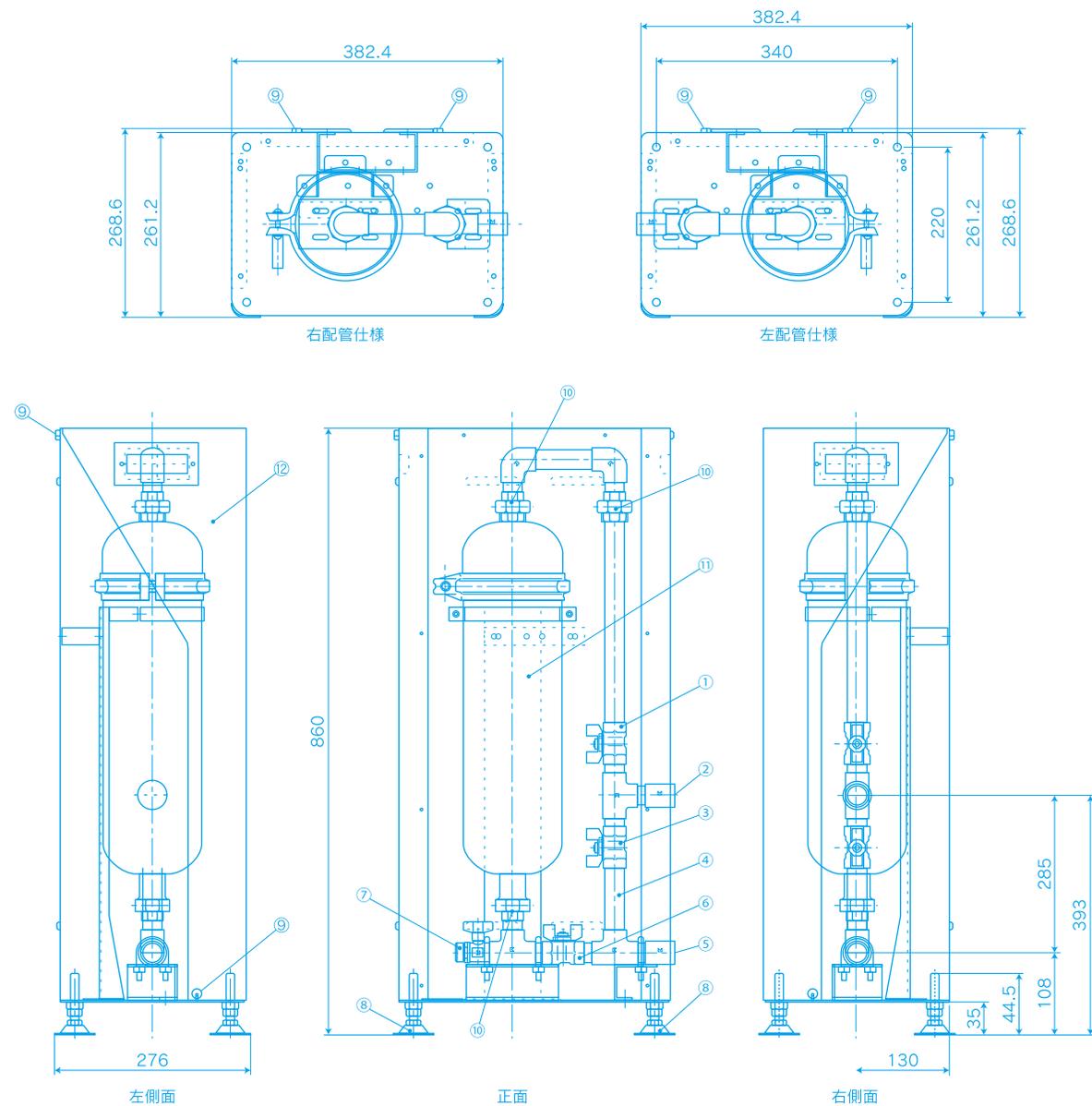
●逆止弁(20A)



●GP・VP接合ユニオン(20A)

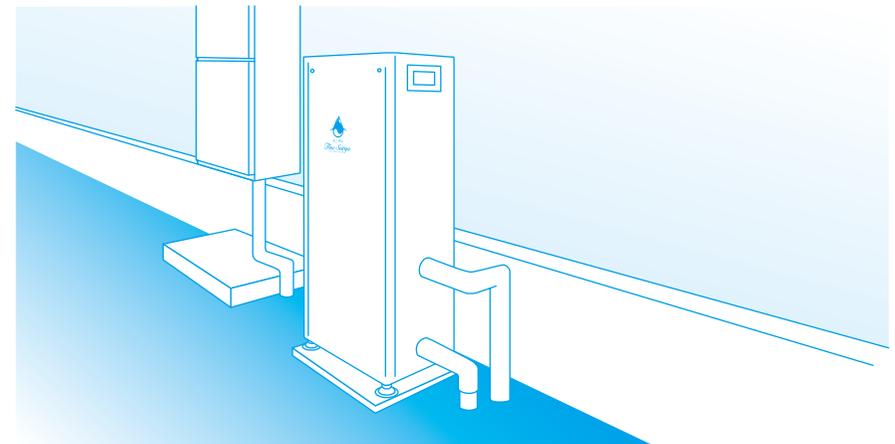


●配管固定金具

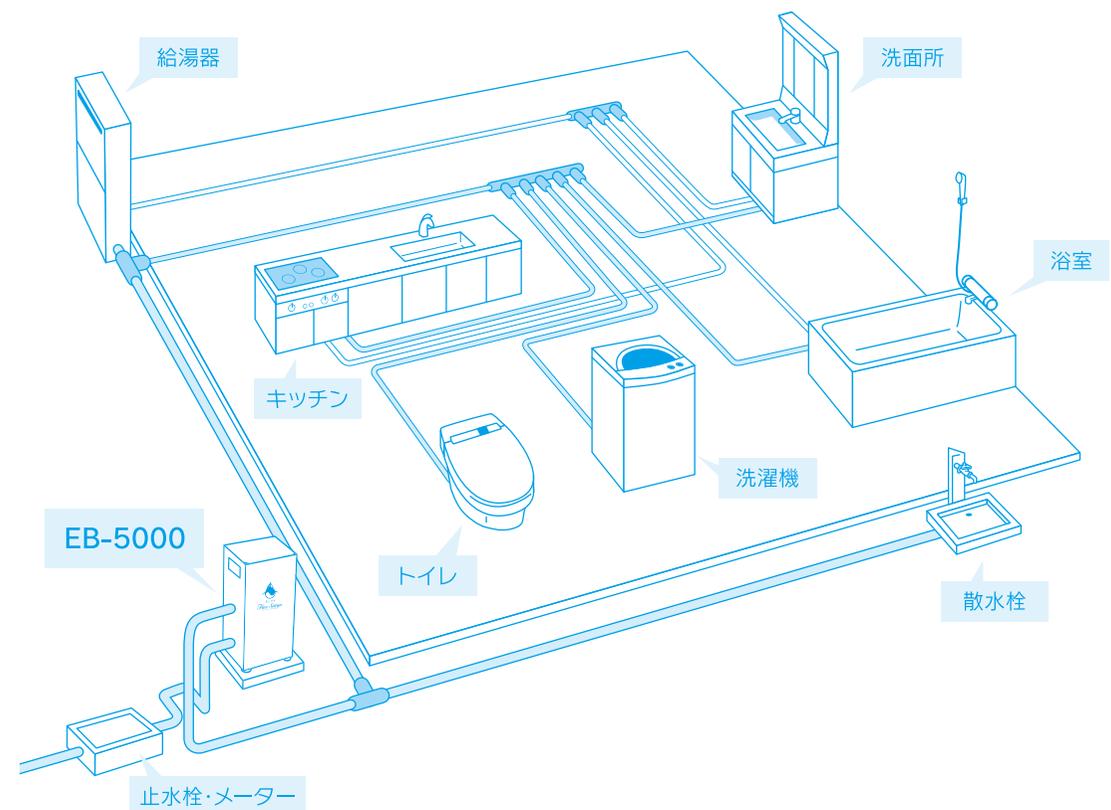


No	出部品名	材質	サイズ
1	出水バルブ	SUS	3 / 4
2	出水口	SUS	Rc 3 / 4
3	バイパス用バルブ	SUS	3 / 4
4	バイパスライン	SUS	3 / 4
5	入水口	SUS	Rc 3 / 4
6	入水バルブ	SUS	3 / 4
7	ドレーンバルブ	黄銅	G3 / 4
8	レベルアジャストボルト	SUS	M10 × 50 × φ38
9	カバー固定ボルト	SUS	M4 × 10
10	本体接続ユニオン	SCS13	3 / 4
11	最上清流本体	SUS	—
12	本体保護カバー	SUS	—

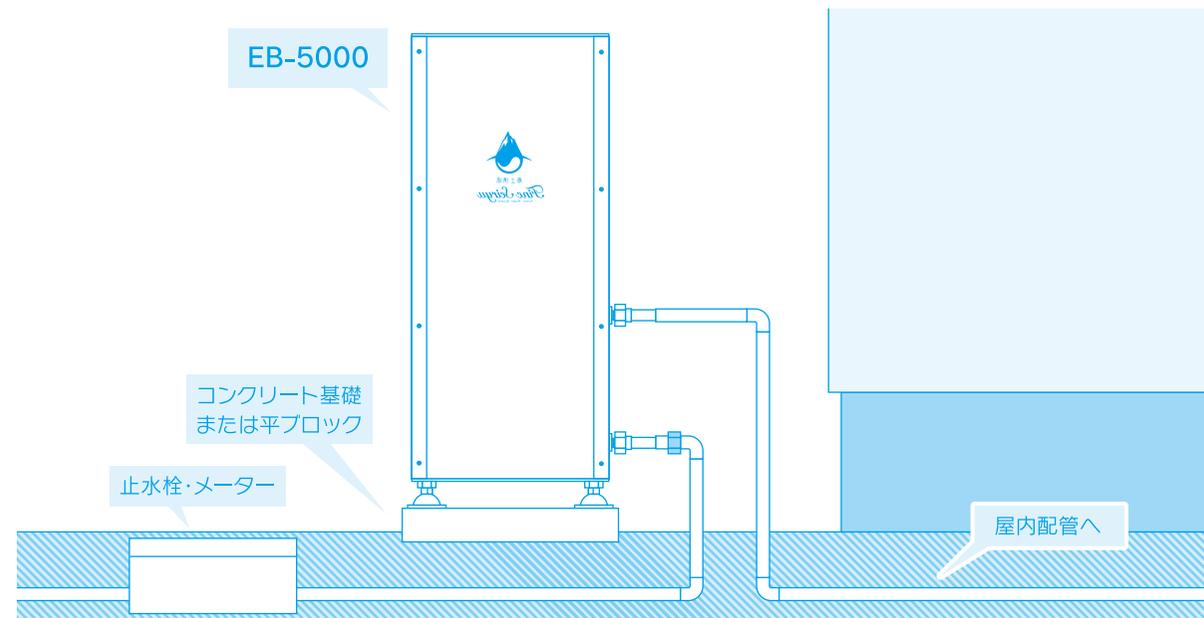
EB-5000(戸建用) 設置イメージ図



EB-5000(戸建用) 配管取回しイメージ図



※設計・施工については、事前に水道事業者およびご購入者様と打ち合わせを行ってください。

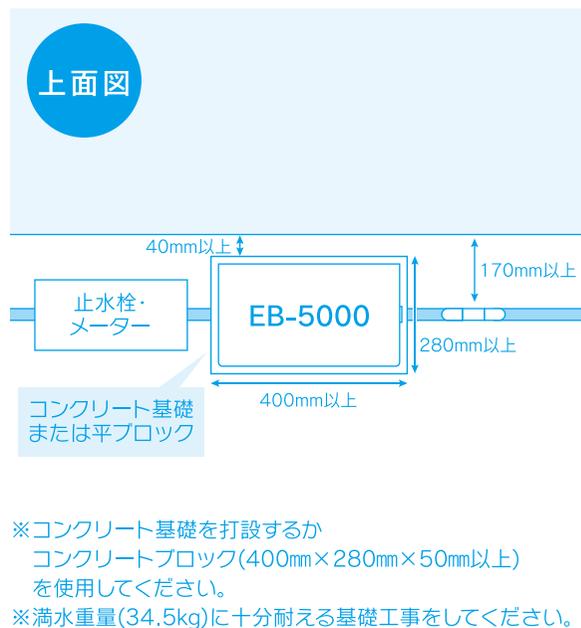
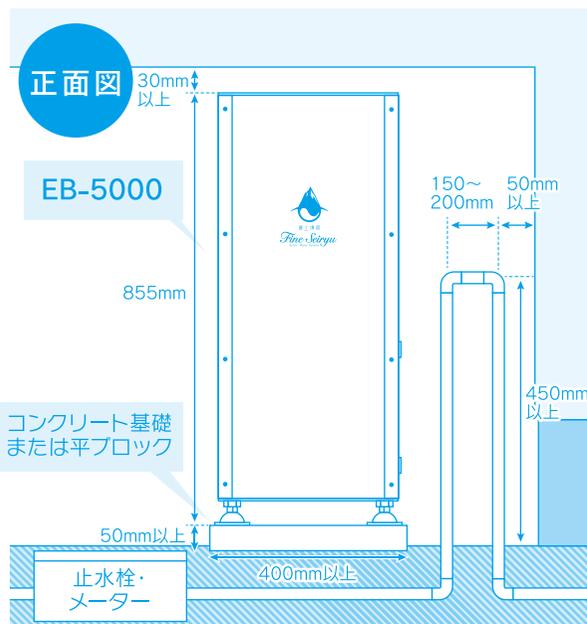


●戸建用据え付けスペースの確認及びコンクリート基礎について

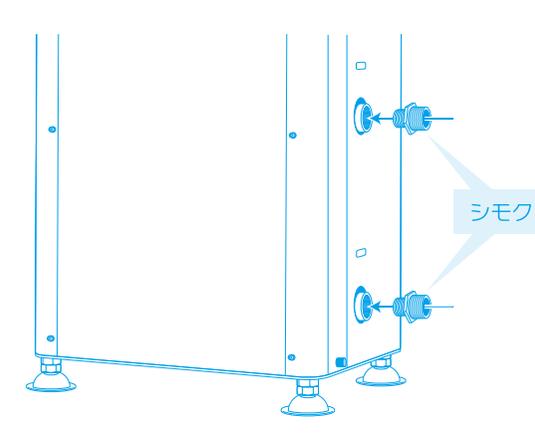
※コンクリート基礎を打設する場合は、下図を参照に配管立ち上げ工事を行ってください。

ポイント カートリッジ交換等のメンテナンスができるスペースを確保してください。

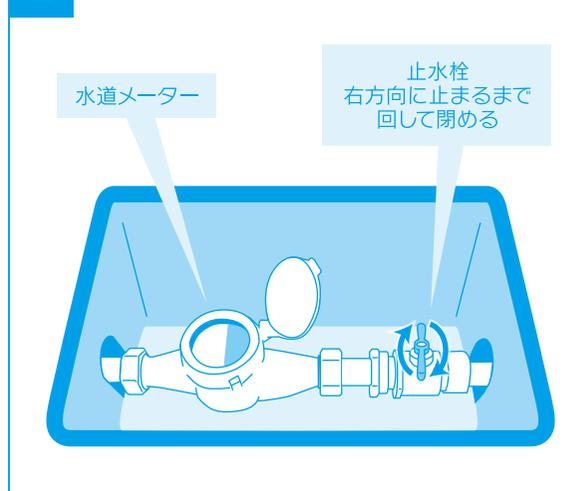
配管立ち上げ工事(仮工事) 要領図



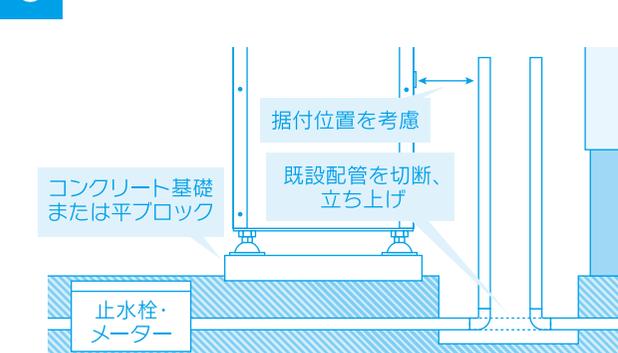
1 本製品の入水口・出水口に
GP・VP接合ユニオンのシモクを取り付けてください。
(使用する配管部材により異なります。)



2 止水栓を開めてください。



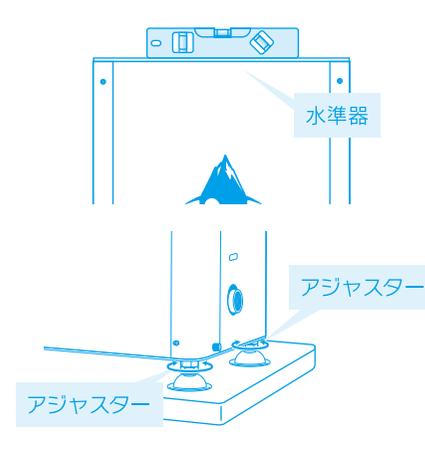
3 本体据付位置を十分に考慮し、既設配管を切断し、配管を立ち上げてください。



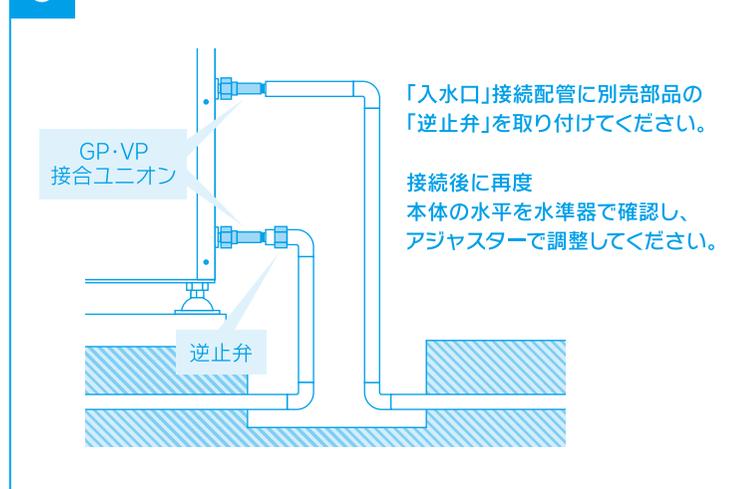
- ！ お客様への負担を考慮し、止水時間をなるべく短くしてください。
- ！ 配管口径や接続部材によって必要寸法が異なります。事前に必要寸法をご確認ください。

コンクリート基礎を打設してください。
又は平ブロック等を敷いてください。
(※基礎寸法はP7参照)

4 本体の水平を水準器で確認し、
アジャスターで調整してください。



5 「入水口」「出水口」を確認し、配管を接続してください。



6 初期通水を行います。

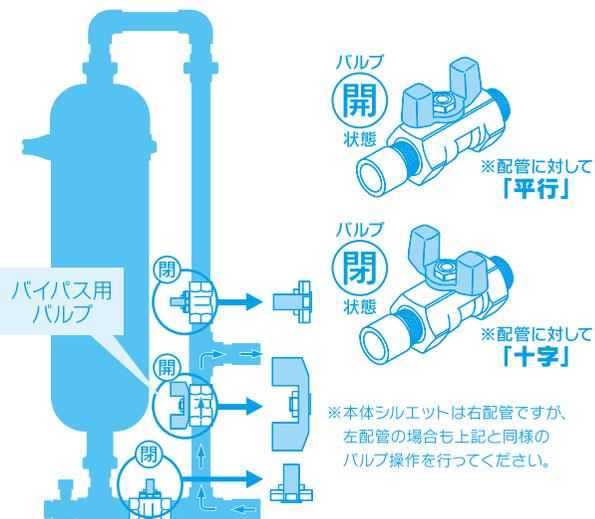
①バルブを「バイパス通水」の状態にし、初期通水を行います。
(※P19,20参照)

！ 通水を行う前に再度確認してください。

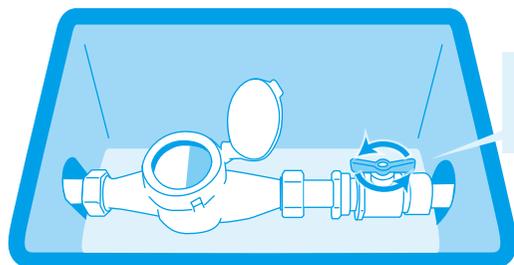
- 1.管体バンドを増し締めしてください。
- 2.各接続部に緩みがないか確認してください。
- 3.水道メーターのメーターユニオンに緩みがないか確認してください。

！ 接着剤やゴミがカートリッジにつまると、流量の低下や悪臭が発生することがあります。初期通水時には必ずバルブを「バイパス通水」にし、カートリッジに水が流れないようにしてください。

！ 通水は接着剤が硬化した後に行ってください。使用する接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤メーカーの説明書に従ってください。



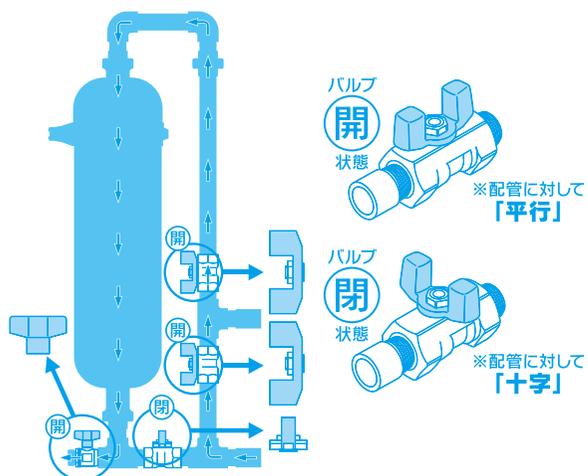
②止水栓をゆっくりと開栓してください。



止水栓を左方向に止まるまで回して開ける

浄水器の二次側の水栓から通水し、配管内部の汚れを排水してください。

③本製品のバルブを「逆洗浄」の状態にし、逆洗浄を行います。(※P19,20参照)

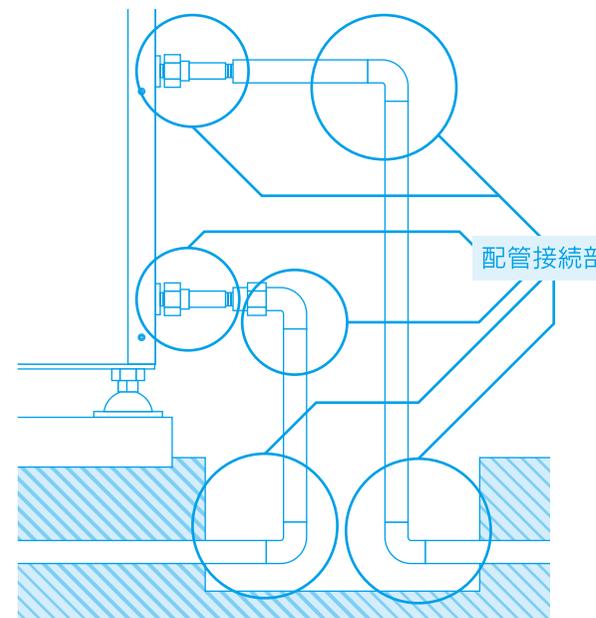


！ 新品のカートリッジに通水した直後は、活性炭の微粒子により水が黒く濁る場合があります。

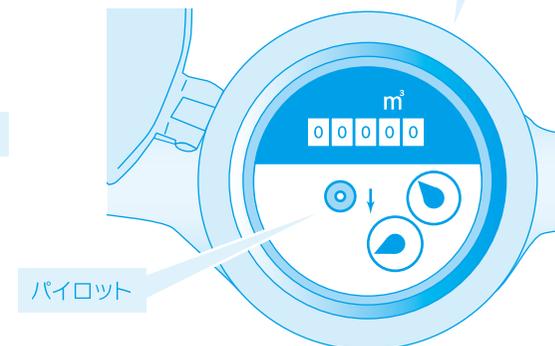
！ 新品のカートリッジに通水した直後は、気泡(空気の粒)により水が白く濁る場合があります。

！ 水が透明になるまで十分に逆洗浄を行ってください。

7 漏水がないか最終確認を行ってください。(本体及び配管接続部)



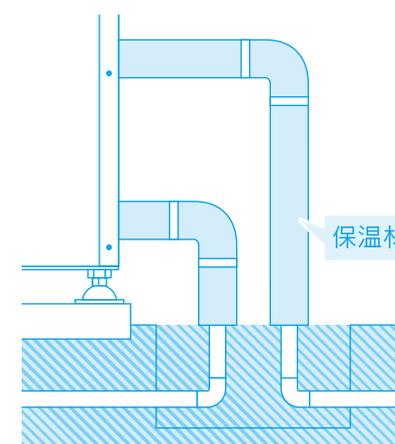
！ 本体に通常の水圧がかかる状態にして5分以上経過後、漏水確認を行ってください。



水道メーターのパイロットが静止している事を確認してください。

パイロットが回転している場合は漏水の可能性がありますので確認してください。

8 漏水確認後、露出している配管に保温材を取付けて埋め戻してください。



壁面接続金具かアジャスター固定具で本体を固定してください。

！ はつり工事等を行った場合は、モルタル・アスファルトなどの打設を行ってください。

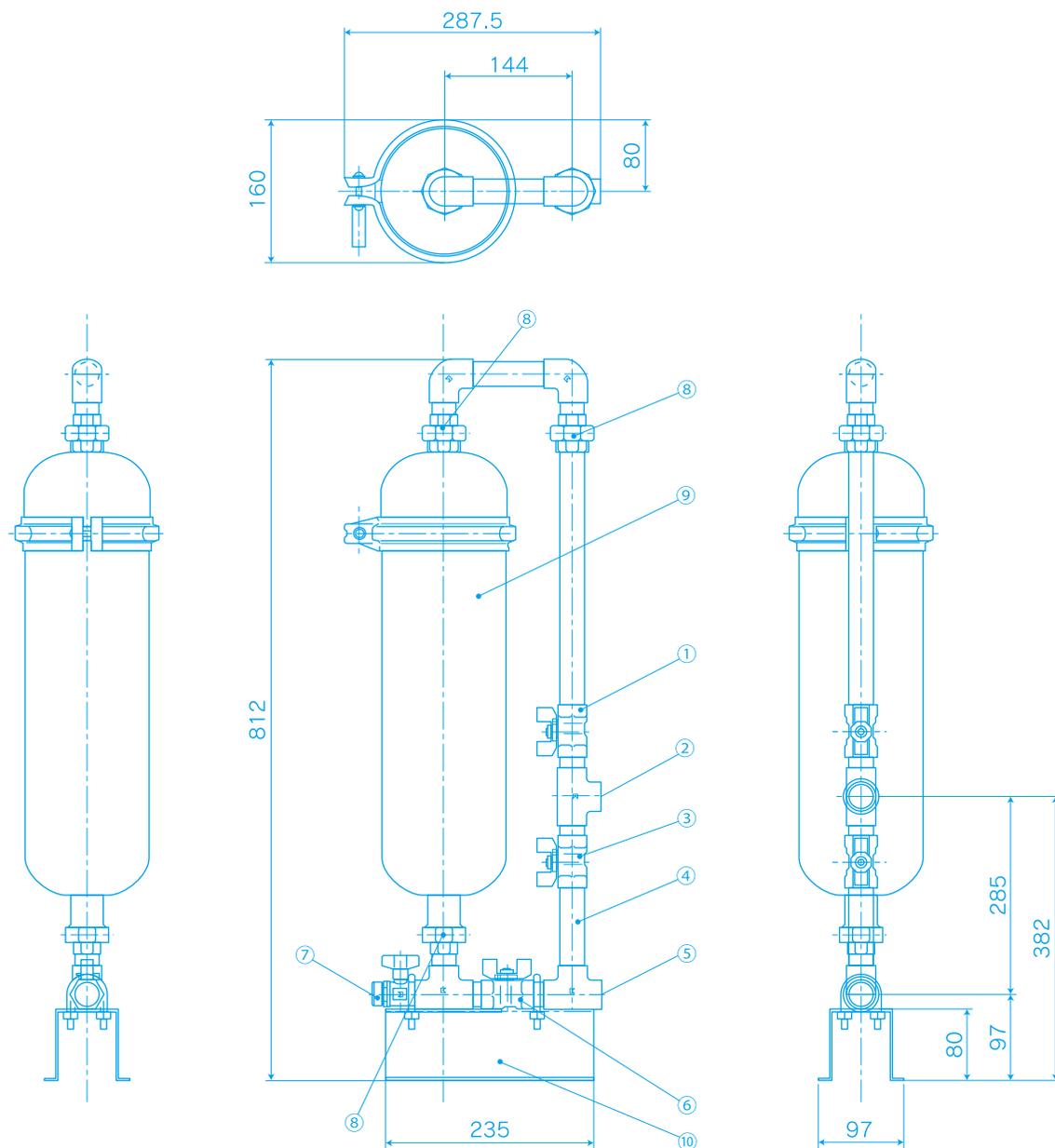
！ 凍結予防について…凍結の恐れがある場所に設置する場合は、保温材を使用しても機器や配管が凍結破損する恐れがあります。凍結防止帯を巻いて加温してください。-5℃以下になる場合は、外気に触れない室内や専用の保温小屋を設けるなど凍結防止対策を講じてください。

9 各水栓でエア抜き、残留塩素濃度の確認を行ってください。

！ エア抜きが不完全な場合、振動で各水栓から水漏れを起こす場合があります。

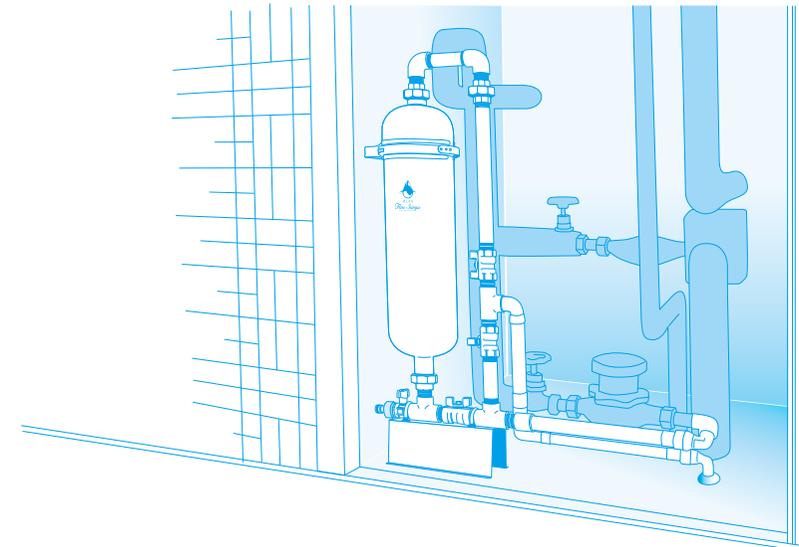
！ 通水後は各水栓、減圧弁などのストレーナ内のフィルターにゴミがたまっていないか点検してください。

設置完了後は清掃を行ってください。本体に同梱されている「申込書兼保証書」の「工事店名」及び「設置日」を記入し本書と一緒にお客様にお渡しください。

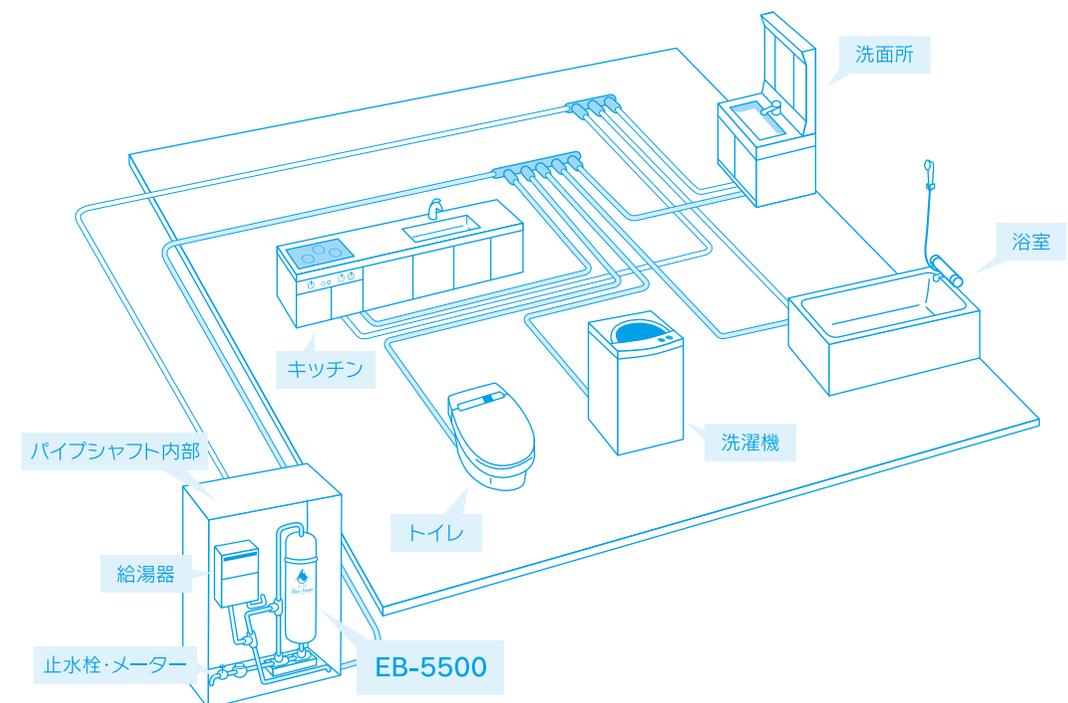


No	出部品名	材質	サイズ
1	出水バルブ	SUS	3 / 4
2	出水口	SUS	Rc 3 / 4
3	バイパス用バルブ	SUS	3 / 4
4	バイパスライン	SUS	3 / 4
5	入水口	SUS	Rc 3 / 4
6	入水バルブ	SUS	3 / 4
7	ドレーンバルブ	黄銅	G3 / 4
8	本体接続ユニオン	SCS13A	3 / 4
9	最上清流本体	SUS	—
10	屋内用専用架台	SUS	—

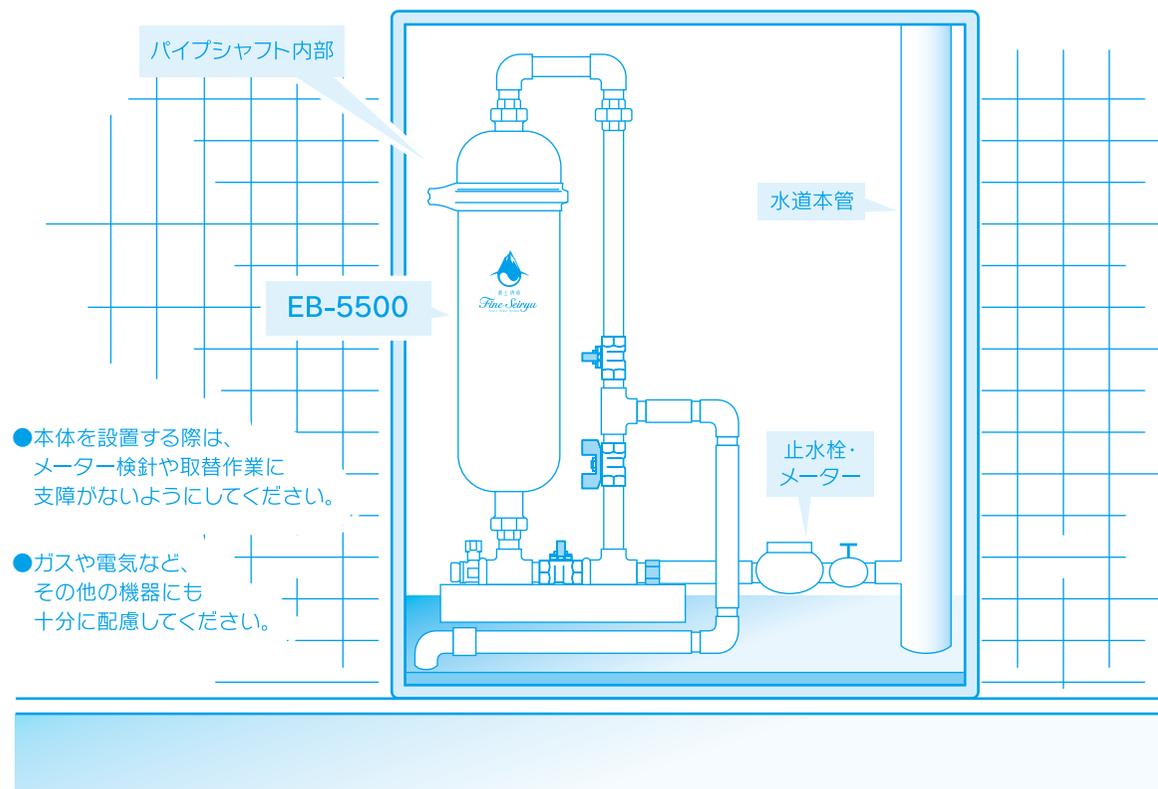
EB-5500(マンション用) 設置イメージ図



EB-5500(マンション用) 配管取回しイメージ図

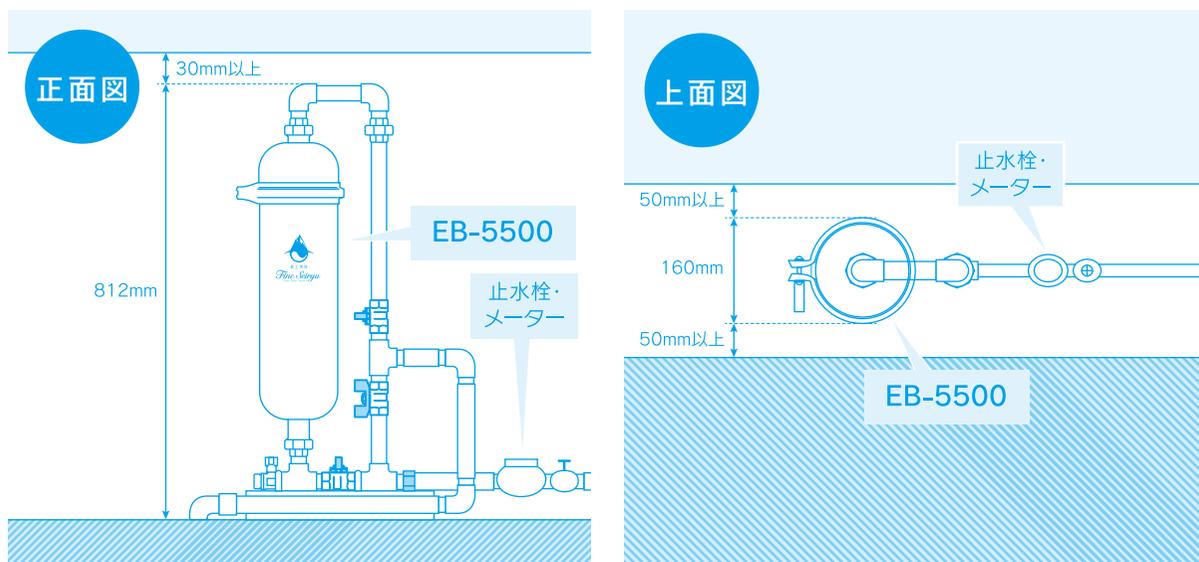


※設計・施工については、事前に水道事業者およびご購入者様と打ち合わせを行ってください。



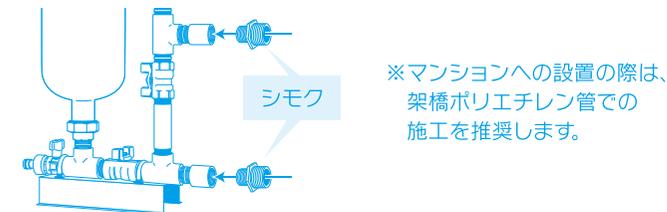
ポイント カートリッジ交換等のメンテナンスができるスペースを確保してください。

EB-5500(マンション用)の据え付け所要スペース

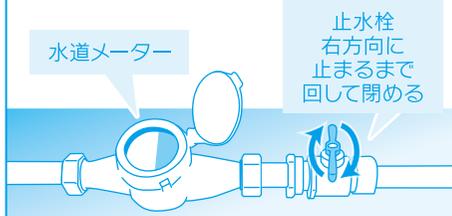


! マンションに設置する際は必ずマンション管理組合の設置許可を確認してから施工してください。

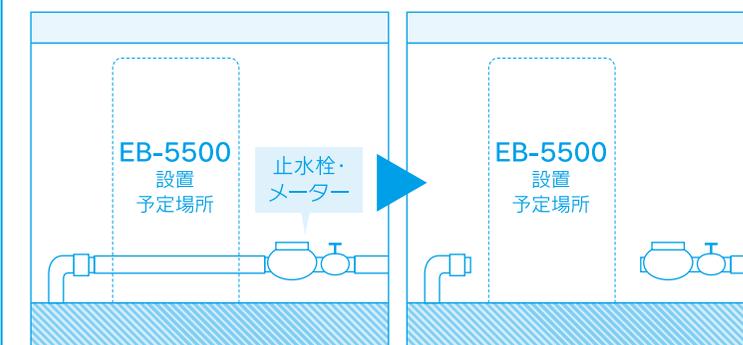
1 本製品の入水口・出水口にGP・VP接合ユニオンのシモクを取り付けてください。(使用する配管部材により異なります。)



2 止水栓を開めてください。



3 本体据付位置を十分に考慮し、既設配管を開放してください。

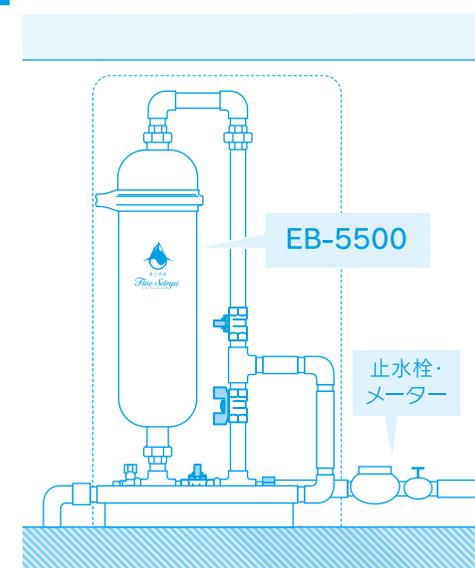


! お客様への負担を考慮し、止水時間をなるべく短くしてください。

! 配管口径や接続部材によって必要寸法が異なります。事前に必要寸法をご確認ください。

※設置場所に傾斜がある場合はアジャスター付き架台(別売部品)を使用してください。

4 「入水口」「出水口」を確認し、配管を接続してください。



●「入水口」接続配管に別売部品の「逆止弁」を取り付けてください。



●接続後に本体を配管固定金具(別売部品)で壁面に固定してください。
※既設のマンションは壁内部にインターネット配線等が埋設されている場合がありますので、アンカーボルトを打設する際は注意してください。

●接続後に本体の水平を水準器で確認してください。

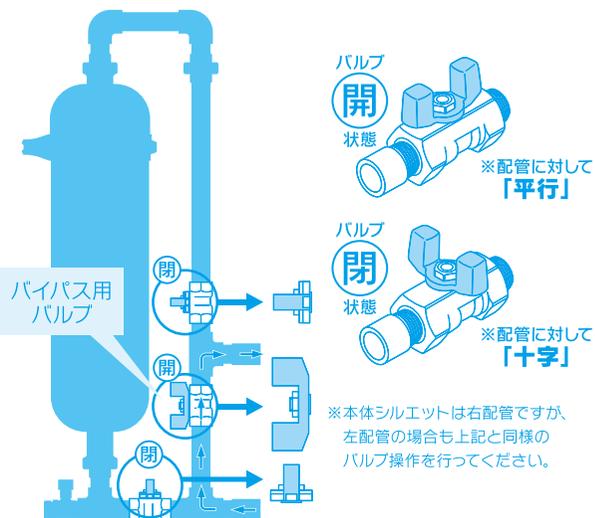
5 初期通水を行います。

①バルブを「バイパス通水」の状態にし、初期通水を行います。
(※P19,20参照)

- ❗ 通水を行う前に再度確認してください。
1.本体バンドを増し締めしてください。
2.各接続部に緩みがないか確認してください。
3.水道メーターのメーターユニオンに緩みがないか確認してください。

- ❗ 接着剤やゴミがカートリッジに詰まると、流量の低下や悪臭が発生することがあります。初期通水時には必ずバルブを「バイパス通水」にし、カートリッジに水が流れないようにしてください。

- ❗ 通水は接着剤が硬化した後に行ってください。使用する接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤メーカーの説明書に従ってください。

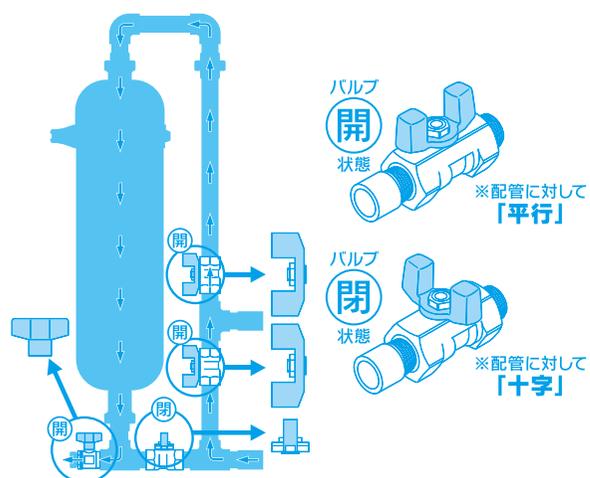


②止水栓をゆっくりと開栓してください。



浄水器の二次側の水栓から通水し、配管内部の汚れを排水してください。

③本製品のバルブを「逆洗浄」の状態にし、逆洗浄を行います。(※P19,20参照)

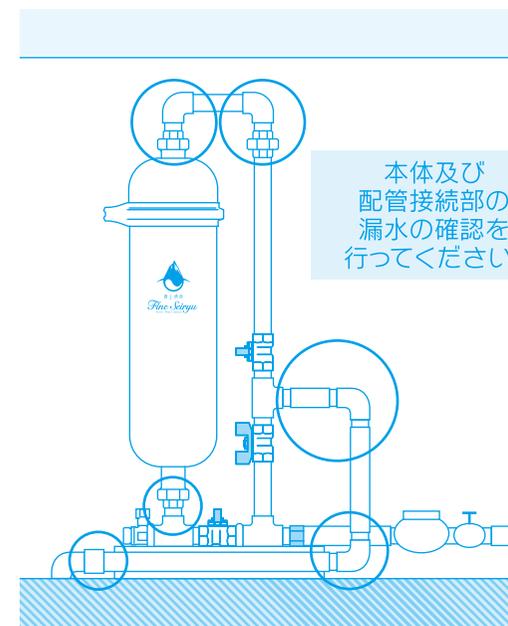


- ❗ 新品のカートリッジに通水した直後は、活性炭の微粒子により水が黒く濁る場合があります。

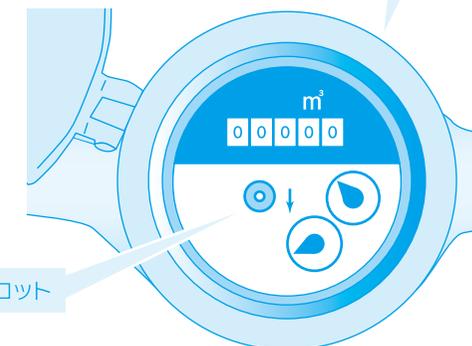
- ❗ 新品のカートリッジに通水した直後は、気泡(空気の粒)により水が白く濁る場合があります。

- ❗ 水が透明になるまで十分に逆洗浄を行ってください。

6 漏水がないか最終確認を行ってください。(本体及び配管接続部)

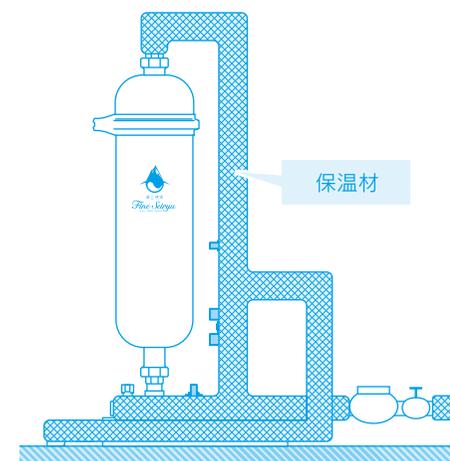


- ❗ 本体に通常の水圧がかかる状態にして5分以上経過後、漏水確認を行ってください。



水道メーターのパイロットが静止している事を確認してください。パイロットが回転している場合は漏水の可能性があるので確認してください。

7 漏水確認後、露出している水道配管に保温材を取付けてください。



- ❗ 凍結予防について…凍結の恐れがある場所に設置する場合は、保温材を使用しても機器や配管が凍結破損する恐れがあります。凍結防止帯を巻いて加温してください。

8 各水栓でエア抜き、残留塩素濃度の確認を行ってください。

- ❗ エア抜きが不完全な場合、振動で各水栓から水漏れを起こす場合があります。
- ❗ 通水後は各水栓、減圧弁などのストレーナ内のフィルターにゴミがたまっていないか点検してください。

設置完了後は清掃を行ってください。本体に同梱されている「申込書兼保証書」の「工事店名」及び「設置日」を記入し本書と一緒にお客様にお渡しください。

カートリッジ交換方法(EB-5000,EB-5500共通)



本製品のカートリッジ交換の目安は1年に1回です。
当該水道局の条例に基づき、認定水道事業者が行ってください。

1 バルブを操作し、バイパス通水の状態にします。

※異臭や有機物の発生を防ぐため、屋内に水道水の原水を通水してください。(台所や浴室の蛇口から排水してください)

バルブ開状態 ※配管に対して「平行」

バルブ閉状態 ※配管に対して「十字」

※本体シロエットは右配管(標準仕様)ですが、左配管の場合も上記と同様のバルブ操作を行ってください。

5 管体キャップを外し、カートリッジを取り外します。

※使用済みカートリッジはメーカーにご返却ください。
※取り外しの際、部品を落下させないようにご注意ください。

管体キャップ

使用済みカートリッジ

2 管体内部の水抜きをします。

※ドレーンバルブの排水口に市販のビニールホース等を接続しドレーンバルブを開いて管体内部の水抜きを行ってください。

ドレーンバルブ

6 新しいカートリッジを装填します。

穴がたくさん開いている面を上向きに取り付けてください。

パッキンが2個ずつ付いています。

パッキンが1個付いています。

固定溝

※カートリッジ下部の突起が管体の固定溝に固定されていることを確認してください。

3 配管接続部(ユニオン)を取り外します。

ユニオンパッキン

7 「管体キャップ」に「シリコンパッキン」を取り付けます。

管体キャップ

シリコンパッキン

4 「専用T字工具」で「管体バンド」を取り外します。

専用T字工具

管体バンド

※細かな部品の紛失に注意してください。

8 「管体キャップ」を取り付けます。

9 「管体バンド」を取り付けます。

※「管体キャップ」と「管体バンド」の「装着位置表示シール」を右図のように合わせてください。

※「管体バンド」を上下逆に取り付けると、管体の締め付けが不足して、水漏れを起こす場合があります。

装着位置表示シール

3cm以下

※「管体キャップ」及び「管体バンド」がかみ合わない場合…

- ①カートリッジ下部の突起が「メイン管体」の「固定溝」に固定されているか確認してください。
- ②カートリッジ上部の突起が「管体キャップ」に固定されているか確認してください。
- ③「管体バンド」の上下が逆になっていないか確認してください。

10 「配管接続部(ユニオン)」を取り付けます。

※3箇所の「ユニオンパッキン」を新品に取り替えてください。(付属部品)

ユニオンパッキン

11 バルブを操作し、逆洗浄をします。

※カートリッジ交換後は、活性炭の微粒子により水が黒く濁る場合があります。
※カートリッジ交換後は、気泡(空気の泡)により水が白く濁る場合があります。
※水が透明になるまで十分に逆洗浄を行ってください。

バルブ開状態 ※配管に対して「平行」

バルブ閉状態 ※配管に対して「十字」

12 バルブを操作し、通常通水の状態にします。

バルブ開状態 ※配管に対して「平行」

バルブ閉状態 ※配管に対して「十字」

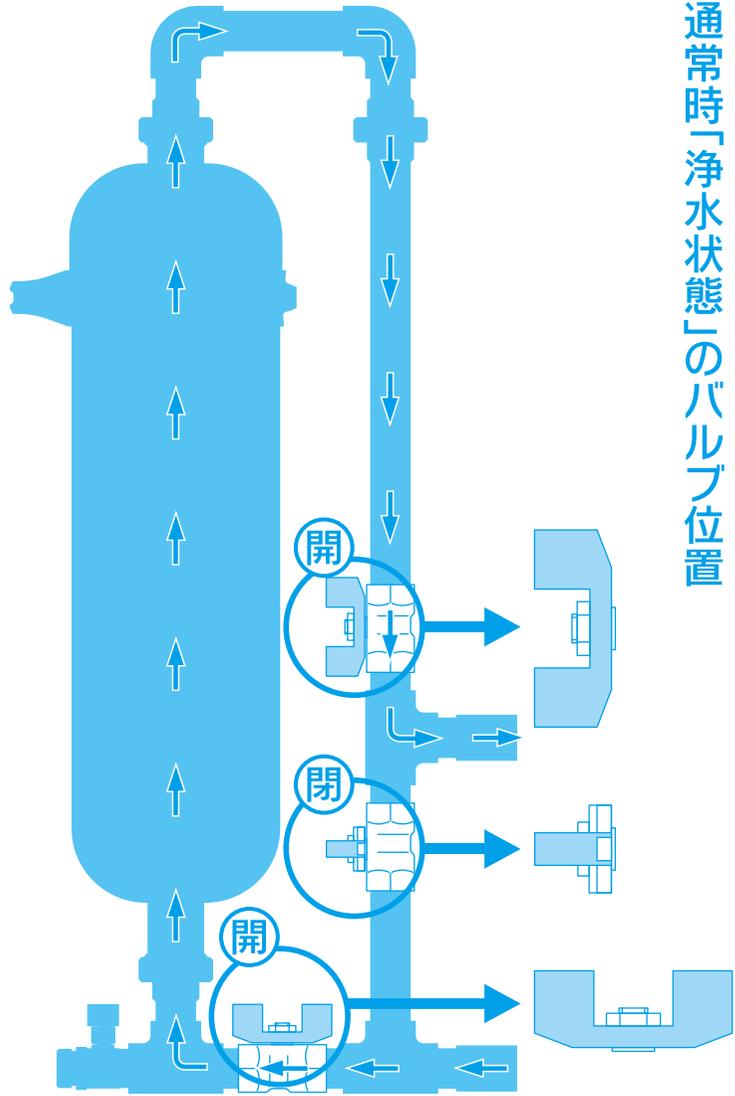
※本体シロエットは右配管(標準仕様)ですが、左配管の場合も上記と同様のバルブ操作を行ってください。

13 交換後の調整をします。

- ①交換後、屋内の蛇口で通水を行い、塩素反応テストを行います。
- ②各接続部位からの漏水がないことを十分に確認します。
- ③付属の「交換日シール」に「交換日」「メーター指数」を記入し、管体に貼り付けます。

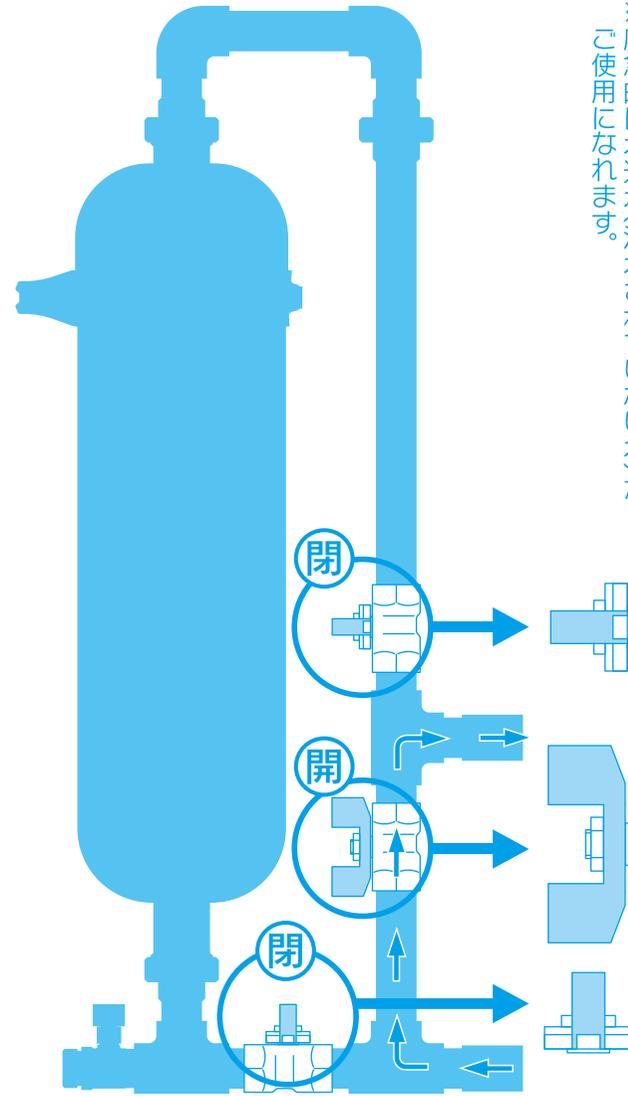
①浄水時のバルブ

通常時「浄水状態」のバルブ位置



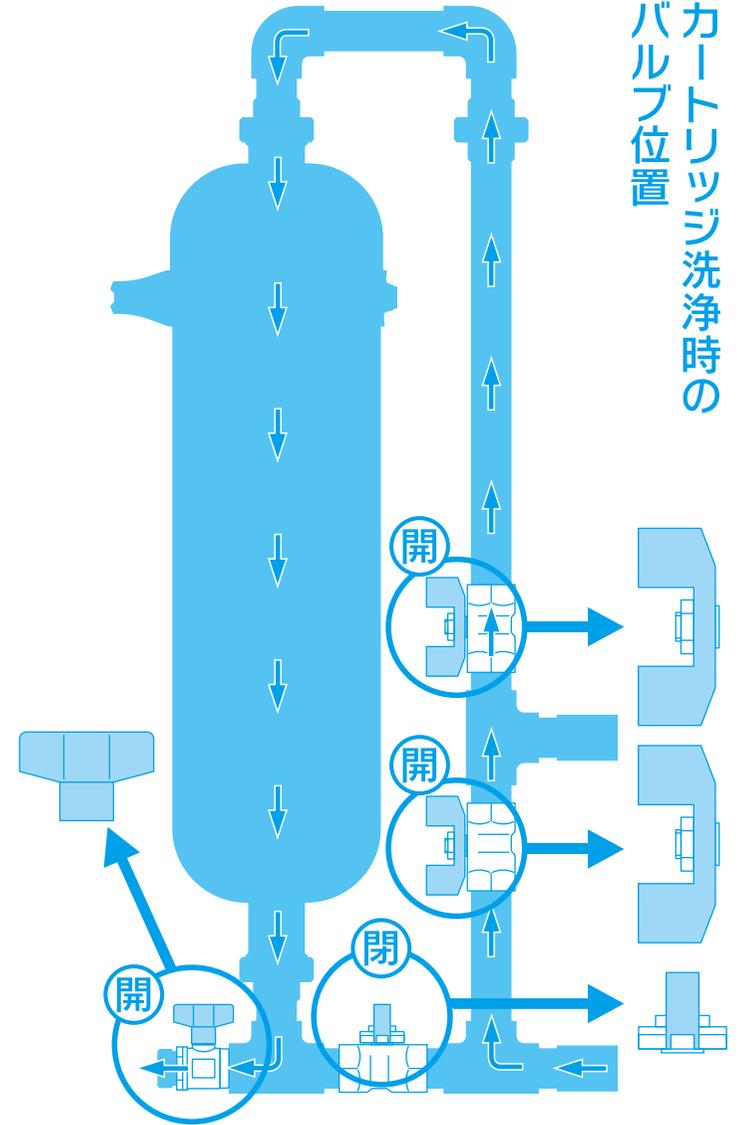
②バイパス通水時のバルブ

緊急時「バイパス通水状態」のバルブ位置
※応急的に水道水(浄水されていない水)がご使用になります。



③逆洗浄時のバルブ

カートリッジ洗浄時のバルブ位置



! 注意

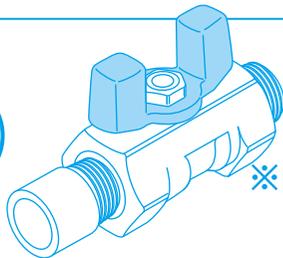
<バルブ方向の確認>

CAUTION

バルブ

開

状態

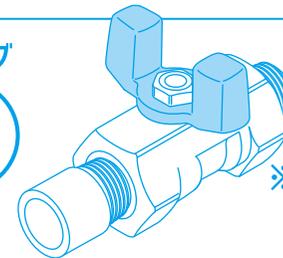


※配管に対して「平行」

バルブ

閉

状態



※配管に対して「十字」

! 注意

※本体保護カバー背面上部(2箇所)と側面下部(2箇所)のカバー固定用ボルトをゆるめ、本体保護カバーを上にあげ取り外した後、バルブの操作を行ってください。
※本体シルエットは右配管(標準仕様)ですが、左配管の場合も上記と同様のバルブ操作を行ってください。

快適で安全な水環境で暮らしていただけるよう、古くなった濾材は定期的に交換する必要があります。EB-5000・EB-5500の濾過能力を維持するためには、最長でも1年に1度のカートリッジ交換が必要です。定期的なメンテナンスを必ず行ってください。

**最長
1年1回
必ず交換**



カートリッジの交換時期

使用量、水質状況により、カートリッジの交換時期は多少異なります。使用期間内でも水量が低下して正常な使用水量を得られなくなりましたら、カートリッジ交換が必要です。



保証書は必ず記入してください。

同封の「申込書兼保証書」の内容をご確認のうえ、必要事項をご記入、ご捺印いただき、ご返送下さい。ユーザー登録後、5年間の製品保証が受けられます。また、全国どこに転居されても安心してアフターケアをお受けいただけます。今後とも、最上清流製品ともども末永くお付き合いいただきますよう、お願いいたします。

困ったときや分からない時は、お客様窓口 または販売店にご連絡ください。

水の出が悪い・・・
(右ページQ2参照)

本体から水が漏れている・・・
(右ページQ5参照)

本体に損傷が見られる・・・
など

ここに販売店の名刺を貼ってください。

お客様相談窓口

 フリーダイヤル
0120-868-847

Q 1 水道工事や貯水タンクの清掃など、断水の予告があった場合は？

A

断水の予告がありましたら、バルブ位置を「②バイパス通水時のバルブ」(P19～20参照)に切り替え、本製品の使用を中断してください。断水後、水道配管内に砂やゴミ、タンク洗浄剤などの化学物質が混入する場合があります。そのまま浄水器を使用しますと過度の汚れによりフィルターが詰まり、浄水が出なくなるおそれがあります。断水終了後は、バルブ位置を「②バイパス通水時のバルブ」にあわせてそのまま、約5分ほど通水し、水の濁りが無くなりましたらバルブ位置を「①浄水時のバルブ」に切り替えて使用を再開してください。

Q 2 水の出が悪かったり、ニオイが気になる時は？

A

水道水は時期により水質が変化します。カートリッジ使用期間内でも目詰まりをおこす場合がありますので、その場合は「逆洗浄時のバルブ(P19～20参照)」で逆洗浄を行ってください。逆洗浄を行っても通常の使用水量を得られなくなりましたら、カートリッジの交換を行ってください。

Q 3 旅行や出張など、長期の不在の場合には

A

長期間(1週間以上)本製品をご使用されなかった場合は、使用を再開する前に約5分程度「逆洗浄時のバルブ(P19～20参照)」で逆洗浄を行ってください。その後、給水管内部の滞留水を排水するため各水栓から約1分排水してから使用を再開してください。

Q 4 井戸水、海水、ため池の水、川の水での使用は？

A

本製品は、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水でご使用ください。水に溶け込んでいる塩分の除去や硬水を軟水に変えることはできません。水道水以外で使用された場合、責任を負いかねますのでご注意ください。
※ただし、お客様の特殊事情につきましてはお気軽にご相談ください。

Q 5 本体や配管から水が漏れている時は？

A

バルブ位置を「②バイパス通水時のバルブ」(P19～20参照)に切り替えるか、止水栓を閉めてお客様相談窓口(フリーダイヤル0120-868-847)までご連絡ください。



EB-5000 (戸建用)

EB-5500 (マンション用)

本体材質	SUS304製	
ろ材の種類	活性炭・セラミックス・フェライト磁石・不織布	
ろ過流量	33リットル/分(JIS S 3201での試験結果)	
使用可能な最小動水圧	0.01MPa	
適正使用水圧	0.25MPa~0.7MPa	
浄水能力	遊離残留塩素 ろ過能力400,000リットル 除去率80% (JIS S 3201での試験結果)	
配管口径	20mm(3/4)※取付け可能配管口径13mm~25mm	
本体サイズ	W382×D268×H860	W287 × D160 × H812
乾燥重量/満水重量	26kg/33kg	12.5kg/19.5kg
カートリッジ型式	EB-40型	
カートリッジ材質	ポリプロピレン・ABS樹脂・ポリ塩化ビニル	
カートリッジ交換	最長1年に1回※注	
カートリッジ寸法	W122×D122×H456.5	

※注 水質・水圧等の条件により、使用期間内でも早く目詰まりする場合がありますので、通常の使用水量を得られなくなりましたら、カートリッジの交換を行ってください。



使用上の注意

- 本製品は、飲用適合水(水道水)用としてご使用ください。
- 水に溶け込んでいる塩分(海水)また、硬水を軟水に変えることはできません。
- 設置条件により「水質」「水圧」が異なります。水量の低下につながることもありますので適正使用水圧内でご使用ください。
- 毎日の使いはじめは、15秒程度通水を行ってから浄水をご使用ください。
- 長期間(1週間以上)ご使用されなかった場合は、ご使用を再開する前に約5分程度の排水をしてください。
- 浄水した水はすぐに使いきり、長期間保存しないでください。
- 浄水した水を全蛇口に供給しますので、必要に応じて塩素濃度の調整を行ってください。
- 寒冷地(0℃以下凍結の恐れがある場所)に設置する場合は、機器や配管が凍結破損する恐れがありますので、凍結防止帯を巻いて加温してください。

製造元

販売店



全館浄水システム

株式会社 **エヴァブリッチ**

〒811-1213

福岡県那珂川市中原4丁目54

 0120-868-847

<https://fineseiryu.net/>